

## 第 1737 回例会報告

令和4年5月12日(木)晴れ

### 会長挨拶

## 『次の目標に向けて一歩足を踏み出しましょう！』

会長 小口直久

先日、会員の皆様にはファックスにてお知らせが届いているかと思いますが、今年度の地区大会は中止と言うことで発表がありました。こちらの決定については、突然の事でしたので最初は戸惑いを隠せませんでした。少し時間が経って気持ち的にも冷静になれているのかなと言う感じです。

今を思い返すと、2年ほど前に地区大会のホストの依頼を打診され、諏訪湖ロータリークラブとして正式にお受けして以来、小松実行委員長を始め実行委員会の皆さんにその大役をお願いしたところ、快くお受けいただき、準備委員会から今年度の実行委員会まで本当に精力的に活動していただき、地区大会成功のためにご尽力いただきました。大変なことでも沢山あったと思いますが本当に感謝しております。

本来であれば今年の10月に開催されるはずだった地区大会ですが、コロナウィルス感染拡大のために今年の5月に延期すると言う決定をいただき、その時にはコロナウィルスは収束に向かい通常開催ができるだろうと言う判断でございましたが、今現在皆さんが知っての通り、コロナウィルスは変異を繰

り返し一向に衰える気配がありません。

この地区大会を開催するにあたり、地区大会実行委員会の皆さんは、ロータリーの地区大会、ホストとしてどんな形で行うのが良いのか、地区大会の本来の意味をしっかりと

皆さんで共有し、ガバナーのお考えも取り入れながら、コロナ禍の中、ベストの地区大会を目指してきましたが、先日の例会内でも小松実行委員長が会員に皆さんにお話ししたり、アンケートにご協力いただいたりしましたが、ガバナーのご意見とは最終的に寄り添うことが出来ませんでした。コロナ禍がなければ、普通に二日間のフルスペックでの開催は問題なく行われるはずですが、現在の状況を鑑みると諏訪湖ロータリークラブホストとしての責任、今回開催にあたりコロナ対策におけるガイドライン、これを遵守することが1番大切であると言うことでギリギリまで議論を重ねましたが、先ほど述べました通りガバナーのお考えになる地区大会での表現は、ウェブ開催では叶うことが出来ないと言う判断で中止となったことをご理解いただければと思います。2600地区の皆さんには、今回の中止の理由はコロナ禍における2600地区の会員の皆様のご健康を考慮した上での中止という形での発表ではありません



♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば	
会員数	37人	1人	5,000円	長男が結婚しました。コロナ禍のため式はしないそうです。 萩田 均	
出席対象	37人	累計	328,000円		
出席者数	37人	目標額	60万円		
出席率	100.0%	達成率	54.7%		
前回修正	100.0%	ZOOM18名会場9名			



2021-2022 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「温故知新」

したが、我がクラブ内では、今回の地区大会をどのような形で開催したら良いのか、アンケートなどで現在の様子を報告した上で、これからの対処について率直なご意見をいただいておりますので、コロナの感染防止と含め、今回の中止の理由として皆様にご報告させていただきます。

中止が決定された今、地区大会開催と言う大きな目標を失ってしまったわけですが、我々がホストとしての今までの足跡は消せるはずもなく、今回皆さんと共に歩いてきた時間をこれからも大切にしたいと考えております。

眞  
し  
愿  
ヶ  
に  
希  
後  
し



本日のZOOM出席者

## ◇地区大会中止報告◇

小松孝弘 地区大会実行委員長

RI2600地区の 2021-2022年度地区大会が中止になりました。会員の皆様には、疑問や不信感をお持ちの方も多いため、経緯の説明を小松実行委員長からいただきました。

本当にご協力ありがとうございました。



## 第1737回例会 『次年度会長指針発表』

会長エレクト 萩田 均

担当 会長・幹事

私のロータリー歴は平成9(1997)年1月入会して、正確にはお試し期間として前年の平成8(1996)年10月から例会へ出席していました。その時は毎週の例会を何回忘れて過ごしていたかは定かではありません。その後、平成17(2005)年12月信日電機を引き継ぎ社長となり会社の状況を打開すべく平成18(2006)年1月に退会させていただき、仕事に専念しました。その後平成25(2013)年7月より再入会をして今に至っています。9年間会員+9年間退会+9年間会員=ロータリーは18年ということです。

第38期の基本方針は2022-2023年国際ロータリークラブにおいて、初の女性会長にジェニファー E. ジョーンズ RI会長となり女性の目線を大切にしたRIテーマを「イマジネーション」として、考えよう(想像しよう)の心を大切に、諏訪湖ロータリークラブの行動の基本に据え進めます。地区標語は「ロータリーはみんなを幸福にする」のもと、多様性・公平さ・インクルージョン(人を大切に)を大切に運営します。地区における重点目標は1. 青少年奉仕(小中高生とともに事業する。R財団奨学生、米山奨学生、学友の交流)2. 職業奉仕活動の重要性3. 親睦の強化4. 合同の奉仕活動の実施を掲げています。諏訪湖ロータリークラブにおいても、多様性・公平さ・インクルージョンを大切に、奉仕活動に取り組み、私たちはどのように行動すべきかを考え、想像を巡らせ活動しましょう。



【クラブテーマ】『考えよう、想像しようロータリー』  
私たちは38年間ロータリークラブの中で、一人一人のロータリー精神のもと奉仕活動をしてきました。それをこれからも大切にして、現在と未来を考え想像して、それぞれの奉仕を、それぞれのできる力によりみんなを支え、より素晴らしいものにしていきましょう。

【クラブテーマ】『考えよう、想像しようロータリー』  
私たちは38年間ロータリークラブの中で、一人一人のロータリー精神のもと奉仕活動をしてきました。それをこれからも大切にして、現在と未来を考え想像して、それぞれの奉仕を、それぞれのできる力によりみんなを支え、より素晴らしいものにしていきましょう。

## 【重点目標】

1. ロータリークラブの奉仕や精神を次世代につなげるため、新会員の拡大に努めよう。
2. 地域社会と世界に、ロータリークラブの持っている奉仕の心を通して、変化を起こし、より良い社会を築こう。
3. コロナ過、戦争、自然災害、経済不況を乗り越える努力をしよう。
4. 吉澤ガバナー補佐を支え、諏訪グループと2600地区に参画しよう。

ひとり一人の違う者同士が集まって諏訪湖ロータリークラブとなっています。それぞれのアイサーブがあつまって、私たちのウイサーブになり、これからも発展すると信じます。ひとり一人の個性を大切にしたいクラブを目指すため努力します。本年一年、よろしくお願ひ申し上げます。

### 諏訪湖ロータリークラブが世話クラブを担当する 米山奨学生「劉強」さんの紹介

期間:2021年4月~2022年3月

2022-2023 国際奉仕員長 長崎政直

去る4月26日、諏訪湖ロータリークラブが世話クラブを担当し、小口直久会長がカウンセラーを担当する米山奨学生「劉強」君に小口直久会長、萩田均エレクトとともに面接、4月分奨学金を渡し、今後の予定など歓談しました。



来日後7年、日本語は堪能な好青年です。専攻は「宇宙線物理学」と夢多き天文学とのことです。

名前(漢字):劉強

名前(平仮名):りゅう きょう

(ローマ字):LIU QIANG

生年月日:1996/01/12(26歳)

出身地:中国黒竜江省牡丹江市

住所:長野県松本市松原34-10パインワールド11B号室

来日の日:2015/10/04

所属:信州大学総会理工学研究科理学専攻  
理科学分野物理学ユニット 宇宙線物理学分野  
観測天文学グループ(信州大学理学部理学科物理コース)

部活:サークル:ファイトクラブ(格闘放)

趣味:スポーツ、音楽

特技:楽器(笛、オカリナなど)

将来の予定:博士へ進学、その後日本の天文研究機関で就職のつもり。

